

きょういく・さど

プラス

令和8年9月15日
佐渡市教育委員会
学校教育課発行



保護者の皆様、日頃より佐渡市の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
今年度の全国学力・学習状況調査の結果概要、合わせて保護者の皆様へのお願いをお伝えいたします。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 佐渡市の結果概要

教科	小学校 平均正答率		中学校 平均正答率 ※英語は IRT スコア		
	国語	算数	国語	数学	英語 3 技能
佐渡市（全国比）	57%（-3.9）	54%（-2.4）	61%（-2.9）	51%（-6.0）	463（-36）
新潟県（全国比）	58%（-2.9）	55%（-1.4）	62%（-1.9）	54%（-3.0）	482（-17）
全国	60.9%	56.4%	63.9%	57.0%	499

※佐渡市中学校の結果は、文部科学省が定めた集計期間外に実施した学校の結果も含めて独自に集計したものです（市内全 12 校分を集計した結果）。各学校の平均正答率等は、小数点以下が四捨五入されて示された数値を改めて集計しており、正確な数値と僅かな差異があると考えられるため、あくまでも参考値としてご参照ください。

今年度の調査結果から見える佐渡市の学力実態

- ・平均正答率または IRT スコアにおいて小中学校ともに全教科で全国平均を下回っています。
- ・各教科において、上位層が少なく、中～下位層が多い傾向にあります。
- ・小中学校ともに国語への関心や得意意識が高く、発表や課題解決へ積極的に取り組む姿勢が見られます。
- ・自己肯定感や他者貢献の意識が高く、先生や友達との良好な関係が構築できている児童生徒が多いです。
- ・中学校数学では、全国平均との差が年々縮小傾向にあります。
- ・日常的な授業での 1 人 1 台端末の活用頻度が全国平均に比べて低いです。
- ・平日の長時間スクリーンタイム（3 時間以上）の割合が高く、中学校での家庭学習時間が少ないです。

佐渡市の子どもたちは、「自分にはよいところがある（自己肯定感）」や「人の役に立ちたい（他者貢献意識）」という意識が高く、友達や先生との信頼関係のもとで学校生活を送っています。また、国語への関心や得意意識が高い点も素晴らしい強みです。

一方で、全教科の平均正答率において全国平均を下回る結果となっており、その背景に「生活習慣」や「家庭での学習習慣」に関する課題が大きく関わっていることが見えてきました。子どもたちの豊かな学びと確かな学力を育むためには、学校での教育活動だけでなく、ご家庭での取組や、地域との連携が欠かせません。今回は、特に保護者の皆様と一緒に考えていきたい「**2つの重要課題**」についてお伝えします。

課題1:スクリーンタイムの長さメディアコントロール



【現状】 ゲーム・動画・SNS に費やす時間が全国より長い傾向にあります

今回の児童生徒質問調査により、佐渡市の子どもたちは平日のスクリーンタイム（SNS、動画視聴、ゲームなど）が長い実態が明らかになりました。

- ・小学6年： 平日 3 時間以上観る・使用する児童が 41.2%（全国：37.6%）
- ・中学3年： 平日 3 時間以上観る・使用する生徒が 57.2%（全国：49.6%）



スクリーンタイムが長い生徒ほど、学力（テストのスコア）が低い傾向にあることが示されています。長時間のメディア利用は、睡眠不足や集中力の低下を招き、毎日の学習や健康に影響を及ぼします。

【ご家庭へのお願い】 各家庭でのルールづくりと「メディアコントロール」を！

テレビやスマートフォン等の適切な使用について、お子さんと話し合う機会を作ってください。

1 「我が家の約束(ルール)」を決めましょう

「利用は 1 日〇分まで」「夜〇時以降は使用しない」「充電はリビングで行う」など、具体的で守りやすいルールを親子で話し合って決めましょう。

2 利用場所や時間帯にメリハリを

スマートフォン等をベッドや布団の中に持ち込まない、勉強中や食事中は画面を見ないなど、メリハリのある生活リズムを作りましょう。大人がお手本となるように、率先してメディアコントロールを行う姿を見せましょう。

課題2: 中学校における「家庭学習時間の不足」

【現状】 平日に「1 時間未満」しか勉強しない中学生が全国よりとても多いです
中学生の家庭学習時間および家庭学習習慣に課題があります。

- ・ 平日の学習時間が 1 時間未満の生徒： 66.6% (全国：37.9%)
- ・ 休日の学習時間が 1 時間未満の生徒： 47.9% (全国：34.8%)



全国と比較しても、家庭学習の時間が大きく不足しており、自立的な学習習慣の定着が急務です。

【ご家庭へのお願い】 家庭学習の意識向上と「集中できる環境づくり」を！

学力を定着・向上させるためには、学校での授業に加えて、家庭での復習や自主学習が不可欠です。

1 家庭学習への意識を高めましょう

「今日はどんな勉強をしたの?」「宿題は終わった?」など、日々の学習について関心を持ち、声かけを行ってください。

2 学習しやすい環境づくりをサポートしてください

机の上を整理する、テレビやスマートフォンの誘惑を減らすなど、子どもが静かに勉強に集中できる環境を整えてあげましょう。

学校・家庭・地域が一体となった今後の取組

佐渡市教育委員会では、子どもたちの生活習慣・学習習慣の改善に向けて、学校だけの指導にとどまらず、地域や社会全体でサポートする体制を整えてまいります。

学校運営協議会・市 PTA 連合会・青少年健全育成協議会との連携

今回の課題（スクリーンタイムの抑制、家庭学習の習慣化）は、各家庭の努力だけでなく、地域全体の共通認識とサポートが必要です。そのため、佐渡市教育委員会は以下の組織・団体と強力的に連携し、地域ぐるみで子どもたちを育てる活動を推進していきます。

- ◆ **学校運営協議会**：各地域・学校の実態に応じた生活習慣・学習習慣の改善策について協議します。
- ◆ **市 PTA 連合会**：各家庭でのメディアコントロールに向けた取組を呼びかけていきます。
- ◆ **青少年健全育成協議会**：地域全体でのメディア利用・規則正しい生活習慣の啓発活動を展開します。

おわりに…

子どもたちの「自己肯定感の高さ」や「他者への思いやりをもって接する心」は、佐渡市が誇るべき素晴らしい宝物です。この素晴らしい土台の上に「確かな学力」と「健康な生活習慣」を育むため、学校と家庭、そして地域が手を取り合って取り組んでいきましょう。

